

# 迎春



辰  
2012

**謹**んで年始のごあいさつを申し上げます。

昨年中は、市政運営に当たりましては、皆様のご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年の3月11日に発生した「東日本大震災」は、多くの尊い人命が失われるとともに、たくさんの方々の方々の生活の基盤を一瞬にして奪う、未曾有の大災害となりました。

鹿屋市では、震災発生後、直ちに支援対策室を設置し、被災地への義援金募集や支援物資の搬送を行いました。

また、肝付町と岩手県大船渡市との銀河連邦による災害協定をもとに、大隅半島4市5町による復興支援チームを結成し、本市から延べ40人の職員を派遣し、給水活動や支援物資の搬入搬出などに取り組みました。被災者の皆様には、一日も早い復興を心よりお祈りいたします。

**昨**年を振り返りますと、3月の九州新幹線全線開業の誘客効果による地域経済の活性化や新たな産業の振興に結びつけるため、福岡地区において開催した「かのやよかとこフェアin福岡」では、本市の資源である食や農林水

産物、かのやばら園などのPR活動など、交流人口の増加に努めるとともに、産学官の連携によるプロ野球選手等のスポーツ合宿・自主トレーニングの誘致や、関東、関西方面の企業の誘致活動に積極的に取り組みました。

また、市の基幹産業である第一次産業を基軸とした内発型産業構築に向け、農商工連携によるセミナーの開催や首都圏等への販路開拓の支援を行いました。ほかにも、「かのや深蒸し茶」や「かのや紅はるか」を活用した6次産業化を推進する取り組みとして、スイーツコンクールの開催や、かのや深蒸し茶のPR用特設コーナーの庁内設置など、農産物の付加価値の向上やPRを図り、生産者の所得向上に資する事業に取り組みました。

さらに、市民が健康で安心して生活できるよう、大隅地域の夜間における初期救急医療体制の確立を図るため、「大隅広域夜間救急病センター」を開設いたしました。

そして、「市民目線の市政運営」を実現するため、「市長と語る車座会議」、「地域再生会議」及び「元気なかのや」づくり会議」の3つの会議を開

催し、市民の皆様の意見等をお聴きしてまいりました。特に「元気なかのや」づくり会議」においては、リナシティかのやを拠点とした中心市街地の活性化策に対し、各種団体等と様々な意見交換を行ったところです。

**平**成24年度は、まずは市民の安全・安心な暮らしを確保するため、消防・防災・防犯・交通安全などの事業を集約し、防犯体制の強化や、災害に強いまちづくりの実現に取り組んでまいります。

また、妊産婦検診の実施などの少子化対策や、かのやばら園の再生による交流人口の増加促進策などに取り組み、全ての市民が生きがいと幸せを実感し、活力あふれる地域づくりを目指してまいります。

**そ**して、本年は、鹿屋市の市政運営やまちづくりの指針となる鹿屋市総合計画の後期5年間の基本計画を策定いたします。計画の策定にあたっては、市民の皆様のご意見を踏まえながら、市民が主役となるまちづくりを推進してまいりたいと考えておりますので、市民の皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

## 生きがい・幸せを実感できる、活力あふれる地域を創る

鹿屋市長 **嶋田奇博**

